

基本理念

豊中市の中核病院として
「心温かな信頼される医療」
を提供します。

基本方針

1. 患者さんの立場に立った心温かな病院をめざします。
2. 地域の中核病院として安全で質の高い医療を提供します。
3. 医療機関との連携を密にし、市民の健康を守るために努力します。
4. 高齢化社会に対応する医療を推進します。
5. 医療従事者の教育・研修の充実を図ります。

病院だより

TOYONAKA MUNICIPAL HOSPITAL NEWS

とよなか No. 14

知っておきたいがん医療の基礎知識

市立豊中病院では、平成21年11月7日（土）阪急豊中駅前「ゆやホール」において「第7回がん医療公開講座」を開催しました。

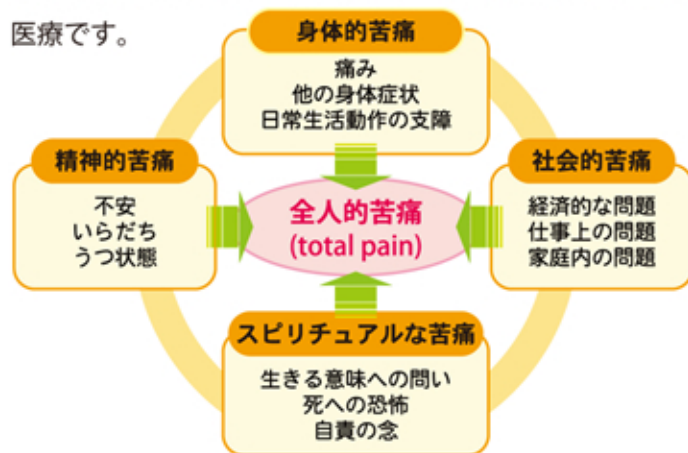
今回は、がん治療をささえる緩和ケア、臨床心理士のサポート、がん相談支援センターなど当院での取り組みを紹介しました。



がん治療をささえる緩和医療

「緩和ケア」と聞くと、がんの終末期医療をイメージされていませんか。

緩和ケアとは、終末期だけでなくがん患者さんの身体的な苦痛や精神的な不安を少しでも和らげるためのサポートを行い、「がん」と診断されたその日から、並行して行われるべき医療です。



泌尿器科 医師
緩和ケアセンター長
目黒則男



がんの患者さんの不安や苦痛は様々です。

緩和ケアチーム医療
みんなでささえる

患者さんのからだや心の様々な苦痛を取り除く
QOL (Quality of Life=生活・生命の質) の向上に努める

当院における緩和ケアチーム

当院では、厚生労働省より「地域がん診療連携拠点病院」として認定を受け、がん治療の中核病院として様々な取り組みをしています。

その一環として、平成16年度より多職種からなる緩和ケアチームを結成し、それぞれの役割に応じた専門性を発揮し、緩和医療を行っています。

全人的な苦痛の緩和のために
チーム一丸となって対応

